

にやるからに。あとへ歸ろと思やんな思やんな。

あとの田地は誰にやる誰にやる。向のね夏にやつ

てくれやつてくれ。向のね夏は田地持ち田地持ち

田地廣めてくら建て、くら建て、。くらのまわり

へ松植へて松植へて。松の小枝へすゞさげて鈴さ

げて。鈴がじやんじやん鳴る時にやなるどきにや

じいさんばーさん嬉しがる嬉しがる。

手毬歌

三河國西加茂郡筋生村字黒笹通信員

近藤とき子

一に俵をふまへて

二にニツコリ笑つて

三に盃手に受けて

四つ世の中よい様に

五ついつもの如くに

六つ無量息災に

七つ何事ない様に

八つ邸をひいろめて

九つこゝらに家立て、

十でとんと治まつた



四月の天地

川口孫治郎

園藝。上旬より亞麻、長瓢、圓瓢、王蜀黍、落

花生、馬鈴薯、西洋葱、除蟲菊、下旬より西瓜、

甜瓜、唐胡麻、里芋、やつがしら、などの種下し

楓、木犀、無花果、佛手柑などの植替に適す。

其折々。更衣、昔は月の朔より袷に更め、足袋

を穿かざるを例とせしが、今は太陽曆に依り舊式

を踏まず。

三日、恭しく、皇祖の遺烈を追慕し奉る。